

麻布学園山岳部

中高一貫の山岳部



私たち麻布学園山岳部は、麻布学園が中高一貫ということでもあり、高校生と中学生と一緒に部活をしています。山行は月に一回程度で春・夏・冬休みに合宿を行っています。月に一回の月例山行は中学生と高校生と一緒に山に行き、合宿の場合はそのレベルに合わせて大体二つのグループに分かれます。分かれるといっても山行での宿泊を少なくするだけで、一緒に山に登っています。テントの中でも一学年一人ずつで、先輩が一緒にテントにいる先輩の面倒を見ることになっています。

素晴らしい交流の場

山行を今までやってきて、特に合宿で感じたのは仲間と山行をするということ、苦勞を分かち合うと同時にそれによって素晴らしい友好関係が生まれるということです。

私が特にそれを感じたのは初めての合宿のときでした。じつは私が山岳部に入部したのは中学三年生のときでそのときの夏合宿が初めての山行でした。そのときすでに山岳部には同学年の人が五人いましたが、そのうち知り合いだけ



たのは私に山岳部を紹介してくれた友達一人だけでした。正直、うまくやっていけるのかとても不安でした。しかし、山を登ってテントの中ではもう難なく会話を交わしてうちとけていました。その日に交わしていた会話でも「そういえば、今日初めて会ったんだよね？」と同学年の部員に「われ、私もそういわれればそのとおりだなあと、思いました。そのぐらいに仲良くなったのです。」

仲良くなれた理由はやはり山を、苦勞を分かち合って登ったということと、テントの中の共同生活があったからなのではないかと思っています。夏合宿が終わった頃には、同学年の友達だけではなく、先輩や後輩とも仲良くなれていました。

山に登ることの醍醐味

山行で山を登ることの醍醐味はたくさんありますが、私にとって特に楽しみなことは二つあります。それは山行での仲間との生活と頂上から眺める景色です。

山行での仲間との生活はとても楽しいです。料理を一緒に作って楽しんで食べたり、寝る前はくだらない話で盛り上がったたり、山に